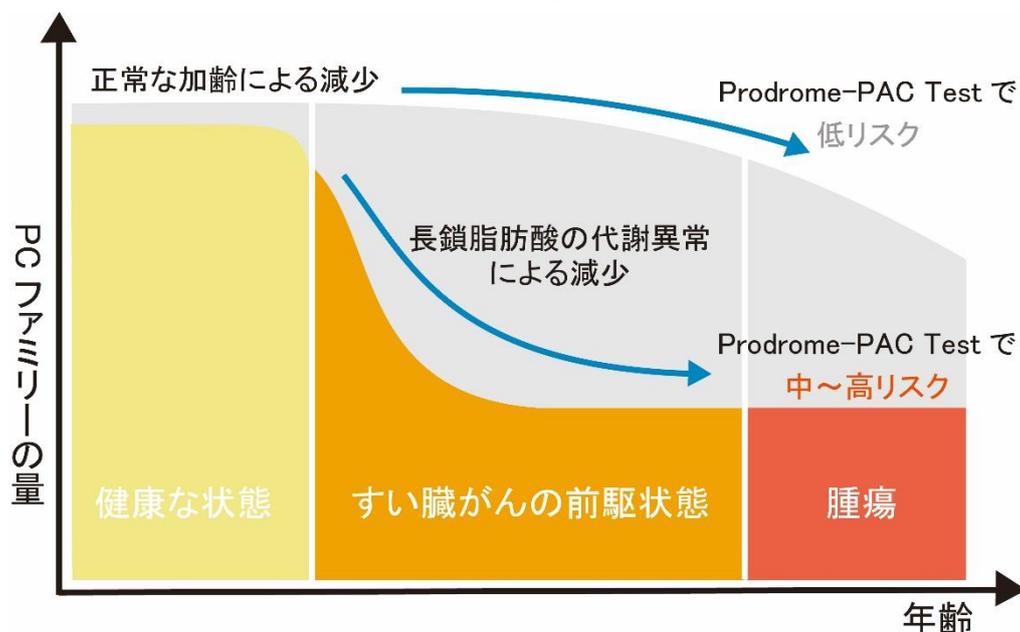


# すい臓がんのリスク検査 Prodrome-PAC

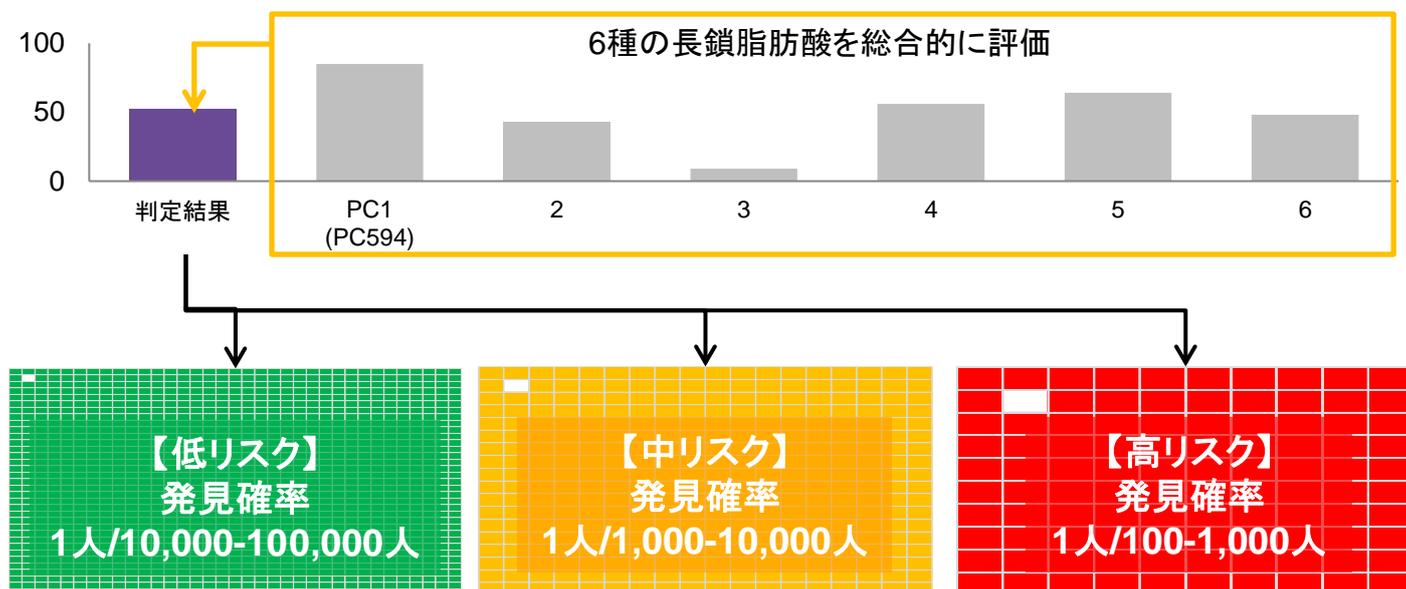
## < Prodrome-PAC (プロドロームピーエーシー)とは? >

すい臓がんのリスクを調べる血液検査です。すい臓がん患者の血中で特異的に減少する6種類の長鎖脂肪酸”PCファミリー”を測定し、すい臓がんのリスクを判別しています。採血のみの簡単な検査で、早期発見へのきっかけとして利用頂くことが可能です。



## < Prodrome-PACの特徴>

検査ではPC-594を筆頭としたがん/非がんの判別に有用であることが分かっている長鎖脂肪酸を測定しています。リスクは6種類の長鎖脂肪酸を総合的に評価し、高、中、低の三段階で判定します。研究成果からは高リスクの場合、低リスクに比べて最大で100倍以上罹患リスクが高くなること、高い感度、特異度が報告されています。



Prodrome-PACをスクリーニングに用いることで  
すい臓がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です。

# <報告レポートイメージ>

検査は6種類の長鎖脂肪酸の解析を行い、A3見開きの紙面レポートにて報告致します。結果は高リスク、中リスク、低リスクの3段階で判定しております。報告書にはすい臓がんを予防するためのヒントや測定物についての解説を記載しております。また、高リスクの方には必要に応じて精密検査の実施を推奨しております。

Prodrome-PAC すい臓がんリスク検査報告書

氏名 サンプル タロウ 様 性別 男性 年齢 47歳

受診日 2021/4/1 カルテID 123456789

### すい臓がんリスク判定結果

Prodrome-PACの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル82と正常です。すい臓がんのリスクは **低リスク** と判定されました。

**総合評価コメント**

今回検査結果では長鎖脂肪酸の値は正常で、すい臓がんのリスクは低い状態であると判定されました。しかし、油断は禁物です。すい臓がんは症状が気づきにくいがんといわれています。今後も定期的な検査を受け、すい臓がんの早期発見・予防に努めましょう。また、食生活、喫煙、飲酒などの生活習慣の乱れにも注意しましょう。

### 検査受診後について

<b>低リスク</b> レベル:26-100	リスク因子を減らし、健康的な生活習慣を心がけましょう。また、リスク管理のためがん検診や本検査の継続的な受診をおすすめします。 ※1年〜2年に1度程度
<b>中リスク</b> レベル:11-25	検査習慣や結果といったリスク因子をお持ちの方は、生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を心がけましょう。また、リスク管理のためがん検診や本検査の定期的な受診をおすすめします。 ※1年に1度程度
<b>高リスク</b> レベル:0-10	医療機関ともご相談の上、専門医の受診をご検討ください。必要に応じて、すい臓の精密検査(右ページ参照)の実施も推奨します。

※検査の結果も含まれ、必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をおすすめします。

### Prodrome-PACで低・中リスク判定だった方に・・・

すい臓がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

- 糖尿病**：すい臓がん発症の危険性を高め、糖尿病が25%以上とも併発するリスクが倍増する可能性があります。また、糖尿病はすい臓がんのリスク因子の1つと考えられています。
- 喫煙**：喫煙はすい臓がんの発症率を喫煙量と2-3倍に増加させることが報告されています。また、禁煙後はやさしくすい臓がんのリスクが低下することも考えられています。
- アルコール**：アルコールを毎日1日以上摂取する方は、すい臓がんのリスクが高くなる可能性があります。  
※日本酒175g程度、焼酎50g程度、ビール250g程度
- 肥満**：肥満はすい臓がんのリスクを増加させることが報告されています。BMI(肥満指数)が25以上の方は、それ以下に近づけてすい臓がんのリスクを低下させることが期待されています。

### Prodrome-PACで高リスク判定だった方に・・・

すい臓がんは自覚症状が少ないことで知られています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめします。(下記は参考例です。)

- 超音波内視鏡**：超音波検査を先行して内視鏡を用いて行う検査です。検査直前の禁食が必要で、検査当日は禁食が必要です。検査当日は禁食が必要です。検査当日は禁食が必要です。
- CT検査**：X線コンピュータを使用し、すい臓の画像を撮影する検査です。検査当日は禁食が必要です。検査当日は禁食が必要です。検査当日は禁食が必要です。
- MRI(MRCP)**：強力な磁場を用いて、造影剤を撮影する検査です。MRCP(MR胆管造影)では、すい臓の中を通る「管」や、胆汁が胆管・膵管の中に溜まる状態を確認することが可能です。

### ● Prodrome-PACについて ●

#### 検査概要

本検査では6種類の長鎖脂肪酸<sup>※1</sup>(以下PCファミリーと記載)の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態からすい臓がんになる段階で減少すると考えられています。人体では、慢性的に過剰な長鎖脂肪酸が生じたり、古くなった細胞が蓄積することでがんができやすくなると考えられています。PCファミリーはこれを抑制することでがんが発生することを防ぐ働きがあると考えられています。そのため、PCファミリーの減少は、すい臓がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。

※1 長鎖脂肪酸:細胞を構成する物質で、その機能や形状を正しく保つ働きがあります。

#### 結果判定

PCファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。中リスクの場合、低リスクに比べてがんが疑われる可能性が20倍高くなります。高リスクの場合では、同様に100倍以上高くなります。<sup>※2</sup>

※2 55-59才 男性の場合/中リスク/低リスク=22倍、高リスク/低リスク=166倍

#### 受診後の対応

生活習慣を見直しリスクの軽減を努めるとともに、定期的な受診をおすすめします。また、必要に応じて、精密検査を受けることをおすすめします。

【検査会社】株式会社プリメディカ  
検査項目: すい臓がんリスク検査

【販売】株式会社プリメディカ  
販売項目: すい臓がんリスク検査  
【開発・特許】PRODROME SCIENCES Inc.

検査項目名	Prodrome-PAC(プロドロームピーエーシー)
検体量	血清 0.5 mL
容器	血清分離剤入採血管
保存(安定性)	冷蔵
報告期間	検体受領から21日
測定・解析機関	PRODROME SCIENCES Inc.
検査方法	質量分析法
備考	Prodrome-PACはすい臓がんのリスクを判定する保険未記載の検査です。Prodrome-PACの結果のみですい臓がんの有無を判定する検査ではありません。他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めいたします。本検査はPRODROME SCIENCES Inc.が保持する特許に基づき、(株)プリメディカが日本国内における独占契約により販売を行っています。

参考文献:

- Shawn A Ritchie ,et al, Metabolic system alterations in pancreatic cancer patient serum: potential for early detection. BMC Cancer. 2013 Sep 12;13:416. doi: 10.1186/1471-2407-13-416.
- Shawn A Ritchie ,et al, Pancreatic cancer serum biomarker PC-594: Diagnostic performance and comparison to CA19-9. World J Gastroenterol 2015 June 7; 21(21): 6604-6612.
- Akita H ,et al, Serum Metabolite Profiling for the Detection of Pancreatic Cancer: Results of a Large Independent Validation Study. Pancreas. 2016 Nov;45(10):1418-1423.